
デキストロメトルフアン臭化水素酸塩過量服薬患者における血清臭化物イオン濃度と臨床症状・依存性パターンの関連に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの検体・診療情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学病院 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、残余検体やカルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

当院において、2023 年 1 月 1 日～2025 年 12 月 31 日までの期間にデキストロメトルフアンの過量服薬で救急外来を受診または入院された患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

当院に搬送されたデキストロメトルフアンの過量服薬された患者さんを対象に、エネルギー分散型蛍光 X 線分析装置 (EDX) やイオンクロマトグラフィー (IC) で実測した血清臭化物イオン濃度と、臨床症状・依存性パターン・電解質異常との関連、および血清デキストロメトルフアン濃度との比較を検討することを目的とします。

3. 研究期間

病院長の許可後～2027 年 3 月 31 日

4. 利用または提供の開始予定日

2026 年 8 月 17 日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

診療記録・血液検査データに加え、保存血清を研究目的で使用します。

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学病院において、研究責任者である上條吉人が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

デキストロメトルフアンによる薬物中毒と診断された患者さんの検査を実施した際に生じた検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

・埼玉医科大学病院 臨床中毒科 上條 吉人（研究責任者）

- ・ 埼玉医科大学病院 特別研究員 安部寛子
- ・ 埼玉医科大学病院 臨床中毒科 喜屋武 玲子
- ・ 埼玉医科大学病院 臨床中毒科 千葉 拓世
- ・ 埼玉医科大学病院 臨床中毒科 永山 智久
- ・ 埼玉医科大学病院 臨床中毒科 森 来実
- ・ 香川大学 法医学教室 村瀬 壮彦

4. 試料・情報の他機関（共同研究機関）への提供について

血清臭化物イオン濃度の測定のため、当院に保存されている血清を共同研究機関である香川大学法医学教室へ提供します。提供する試料には、氏名・ID等の個人を識別できる情報は含めず、識別コードのみを付した状態で送付します。香川大学では、エネルギー分散型蛍光X線分析装置(EDX)やイオンクロマトグラフィー(IC)などの機器分析を用いて血清臭化物イオン濃度を測定し、測定後の残余検体は当院が適切に管理します。

- ・ 提供先：香川大学 法医学教室（村瀬 壮彦 教授、竹居 セラ 助教）

5. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学病院 病院長 篠塚 望

香川大学医学部附属病院 病院長 杉元 幹史

お問い合わせについて

ご自身の検体やカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学病院 臨床中毒科 森来実（担当者氏名）

住所：〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38

電話：049-276-1835（土日祝日を除く 8：30～17：30）

メール：mkuru@saitama-med.ac.jp

○研究課題名：デキストロメトルファン臭化水素酸塩過量服薬患者における血清臭化物イオン濃度と臨床症状・依存性パターンの関連

○研究責任者：埼玉医科大学病院 臨床中毒科 特任教授 上條 吉人